修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（崎ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

輝く新春を迎う

広い文教行政展開

文部大臣
谷垣専一

谷垣文部大臣

昭和五十五年の新春を迎え、国民の皆様にお喜びを申しあげるとともに、文教行政について所感の一端を申し述べてごあいさつといたします。

私はいかなる社会、いかなる時代においてもはすべてのことがらの基礎となるのは、人間であると考えております。経済や社会の発展も、科学や文化の進展もその根本において、人間という問題を抜きにすることはできません。そして、その人間を育てるものは教育であります。特に、国民の豊かさが一応達成され、広く国民の間に心の豊かさや生きがいなど積極的な充実を求める声がこれまでになく高まりつつある今日、教育がになう役割ははますます重要となってきております。

わが国が内外の諸情勢に対処しながら、その未来を切り拓いていくためには、学校・家庭・社会を通じて教育の機能を充実し、たくましく、かつ創造力のある心身ともに健全で、国際的に開かれた国民の育成を期していかなければなりません。

私は、着実でたゆみない努力によって、そのための諸課題の解決に全力をあげて取り組んでまいる決意であります。

まず、初等中等教育につきましては、本年四月から小学校において新学習指導要領による教育が実施されることになりました。中学校、高等学校についても順次新学習指導要領に移行する措置が講ぜられております。

この小・中・高等学校の新学習指導要領の趣旨を十分生かした、ゆとりのあるしかも充実した学校生活を実現するため、教育指導条件の諸施策を進めてまいりたいと考えております。

国民一人一人がその生涯を通じて自らの啓発、向上を図り、スポーツ、芸術・文化に親しみ、健康で豊かな人生を築き得るような諸条件を整備充実していくことは、学校教育の振興と並ぶ文教行政の重要な課題の一つであります。このため、私は国民の要求に応じた多様な学習活動、スポーツ活動、あるいは文化活動の機会を相互の関連性を考慮しつつ整備し、その振興を図ってまいる所存です。

国民生活に深いかかわりをもちかつ将来のわが国発展の基盤を築く文教行政は広く国民各位の理解と協力を得て進めていかなければなりません。皆様方の一層のご支援をお願いして新年のご挨拶といたします。

全修協の運動に期待

日本教職員組合
中央執行委員長　槙枝元文

槙枝委員長

財団法人・全国修学旅行研究協会の活動に参加されている皆さんに対し、新春にあたり心からのご挨拶をおくります。

昨年の年末から新春にかけて、海外旅行、国内旅行の人口が例年以上に増加したと新聞は報道しています。物価の高騰、交通運賃の値上がりという悪条件にもかかわらず、国民のレジャー指向はたかまる一方です。

こうした傾向のなかで、教職員の海外・国内旅行もふえつづけています。それだけに全修協への期待も一層たかまっているとみるべきでしょう。昨年夏、日教組と全修協との協力で実施した海外教育視察旅行は、準備と計画が不十分であったため、参加者が三十名にとどまりましたが、今年は周到な準備と教職員の期待にこたえ得る計画を樹立し、努力をつづけていきたいと考えています。

全修協の中心事業である修学旅行の充実にむけての努力は、多くの学校関係者から歓迎されているところです。子どもたちにとって、修学旅行とは何か、学校行事、教育活動のなかに修学旅行をどういう位置づけるのか、これらの点について、全修協が積極的に教職員や父母の意見を集め、一定の方向性を提起するといった試みもまた必要かと思います。

それは、修学旅行のあり方について、いま心ある教職員の間で討論されているからです。家族旅行もふえている現状から、ともすれば観光に重点がおかれがちな修学旅行の見直しの意見もよく聞くところです。

昨年の日教組教育研究全国集会では、原爆の実態を学ぶために広島への修学旅行を計画して大きな成果をあげたといった報告も行われていました。また、都会の児童・生徒が農山村にでかけてその生活にふれさせる修学旅行を計画して成功したといった例も聞かれました。

子どもたちに、教職員に、父母に歓迎される八十年代にふさわしい修学旅行のあり方への提言も、全修協の事業の充実と拡大のため、今年も全力をあげようではありませんか。

転換を画すべき年に

財団法人・全国修学旅行研究協会
理事長　山本種一

一九八〇年新春のお喜びを申しあげ、みなさまのご健康と、いっそうのご活躍とを、心からお祈りいたします。

全修協が、戦後復興の五〇年代から、高度成長の六〇年代を経て、激動と模索の時代といわれた七〇年代の荒波を乗り切って、創立以来二十有余年間、修学旅行の改善向上を通じての青少年教育への寄与と、研修旅行を通じての教職員福祉への貢献という大きな命題を旗印に、着実に前進を続けております。これは、教育を熱愛する全国同志の組織的団結と、各界多くの方々の限りないご支援のたまものと深く感謝いたします。

八〇年代は、各界各様の思惑で、構造改革の時代とか、不透明調整の時とかいわれていますが、修学旅行の教育性、安全性、経済性の向上に目覚ましい成果をあげ、また研修旅行の分野では各教育機関ならびに友誼諸団体の深いご理解により、全国の教職員が、教育者としての視野を広め、知識を高め、かつ教育交流を深める場として、教育界に浸透定着し、いずれの運動も全修協ならではのものとして高い評価を得るにいたっています。

本年は、さらにその声価を確固不動のものとすることを期して、修学旅行については、修学旅行委員会活動のいっそうの活発化を図ることはもちろん、来年に予定されている東北上越新幹線の開通を機に、全修協の指導による東北地区修学旅行委員会の組織化の期待にこたえるための土台作りを推進し、研修旅行については、従来からの春と夏の研修をいちだんと拡充するとともに、昨年初めて実施し好評を得た退職教職員のための「くつろぎとふれあいの旅」も充実させて、生涯福祉の面にも寄与してまいる所存であります。

八〇年代を、全修協運動の輝やける時代とするために、みなさまの高邁なる英知と不屈の行動とによるご支援をお願いして年頭のご挨拶といたします。

八〇年代幕開けの本年は、全修協にとっても、創立二十五周年を明年に控え、時代の変革に対応しつつ、一転期を画すべき重要な年であります。

さいわいにして全修協の運動は、修学旅行の分野においては協会創立と同時に発足した関東東海・近畿各地区修学旅行委員会ならびに、これら三地区による連絡協議会が、教育現場の先生方の営々たるご努力によって、国鉄、郵便などの公共料金の値上げ、エネルギー問題など、国民生活はなお厳しくなることが予想されますが、われわれの運動もその渦を避けては通れません。

21世紀の鉄道作り

日本国有鉄道総裁
高木文雄

高木国鉄総裁

新年おめでとうございます。

私は国鉄総裁として四度目の新春を迎えました。この四年間は私にとりましてまさに激動の時期でありましたが、この間に寄せられました皆様のご理解、ご協力に対しまして改めて厚くお礼を申し上げます。

ご承知のように国鉄は昨年来、宮崎県の浮上式鉄道実験線において、待望の時速五〇〇㌔の磁気浮上走行に成功しました。または小山新幹線総合試験線においても、時速三二九㌔の高速走行試験に成功したのをはじめ、各種の試験が着実に進められています。さらに東北、上越新幹線建設にかかわる沿線各都市の住民の皆様のご理解ご協力も、進展のきざしをみているようにおもいます。

こうした前途に明るい展望がひらけてきた面もありますが、今年は、いよいよ再建の第一歩を踏み出すための重要な年でもあります。

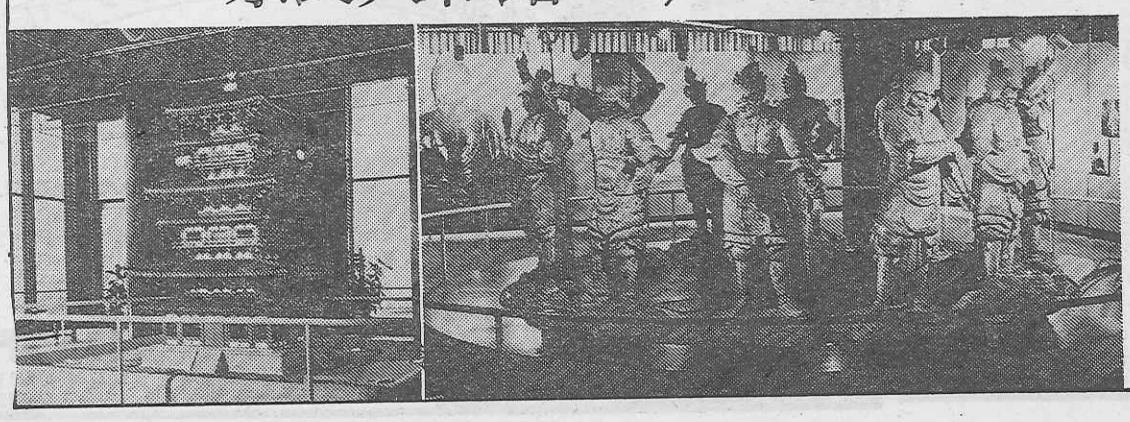
昨年七月「国鉄再建の基本構想案」を取りまとめましたが、昭和五十五年はこの基本構想案に沿った「新しい再建計画」の具体化に四十三万職員が一丸となって努力を傾注し、明日の国鉄、ひいては二十一世紀の鉄道づくりに向けて出発すべき年でもあるわけです。

新しい年を迎えるにあたり、私はこの現状を直視して、心新たに国鉄の方途に思いをめぐらすとともに、四十三万職員と一体となって、国鉄再建達成の意欲をかき立てています。なにとぞ本年も、変わらぬご支援、ご叱正を賜わりますようお願い申しあげます。

風紋

正月の休みに京都へ行った。これまでも三回ほど京都で新年を送ったが、そのときは社寺や庭園などを中心に回わった。こんどのお目当ては嵯峨野である。着ぶくれした身体に汗が流れるほどの暖かさで、のびのびと歩いた。春を思わせる嵯峨野は明るく、ところどころの竹林が青空に浮き出ていた▼化野（あだしの）念仏寺の石仏（石塔）を訪れた。境内の一郭にまとめられた約八千基といわれる石仏たちは長い歳月、風雨にさらされて、なかにはすでに表情が消え失せているものも多かった▼この化野は、むかし洛西のおくつきどころであったという。「あだし」とは「むなしい」「かなしい」などの意味があるとか。おそらく風葬場もあっただろう。だからこの付近一帯には無数の石塔が散在し、しだいに無縁仏として放置されていたのを念仏寺に収容したのだといわれる。ゆかりもなく見捨てられたこれらの石仏たちに花をささげて慰める奇篤な人もいる▼富めるものや権力者たちは巨大な石仏を建造したであろうが、化野の石仏たちは、おそらく貧しい庶民たちのところを托して刻んだものにちがいない。飾り気のない素朴な表情が磨滅した顔かたちから想像できるのだ▼兼好法師の徒然草に「あだし野の露きゆる時なく鳥部山の煙立ちさらでのみ住み果つる習ひならばいかに物のあはれもなからん。世は定めなきこそいみじけれ」とあり、また、西行法師は「誰とても留まるべきかはあだし野の草の葉ごとにすがる白露」といずれも世の果なさを書き、詠んでいる▼地蔵盆の八月二十三、四日の夕方、ひとつひとつの石仏に蝋燭がともされる千灯供養。暗闇のなかに浮びあがる石仏の明滅する陰影。また、冬のさなか、深い雪をかぶった石仏の冷たい表情などは、化野・念仏寺にふさわしく、異様なふん囲気をかもし出すであろうが、さんさんと太陽に輝くこの日の石仏たちは明るく、滅びゆく祈りの芸術品と思えた。（は）

奈良大和路の1,300年を、1ヶ所にあつめました。



奈良歴史教室

日本のふるさと〈奈良大和路〉
その素晴らしい歴史・文化・美術から年中行事・観光の見どころまで
模型・写真・スライドなどでわかりやすく解説。
大和路をより深く　より楽しく理解できる歴史教室に
ぜひ　お立寄りください。

入館料……200円　こども100円　団体（25人以上）は割引
営業時間……平日10時～18時
日曜・祝日10時30分～18時30分（月曜休館）
●お問合せ…近鉄奈良駅ビル4・5階　☎0742（24）3901

近鉄

新春を迎えて

創意生かす修旅を

福井　繁

新年おめでとうございます。

三地区公立中学校修学旅行が円滑に実施できるよう、皆さま方のご協力により活動してまいりましたが、本年も子どもたちがより楽しく、より有意義に実行できるよう、各方面へ働きかけをしてまいりたいと念願していますので、何卒一層のご協力を賜わりますことをお願いいたします。同時に全修協の山本理事長はじめ役員の先生方の特別なご後援をいただいておりまして心からお礼を申しあげます。さらに本年もなお一層のご支援を賜わりますようお願いいたすしだいです。

修学旅行は中学校学習指導要領特別活動編に組み入れられてからすでに久しい。近年、世の中が発展し、家族旅行などが一般化している中でも、修学旅行がなお一層大切にされ、改訂指導要領でも重視されています。これは学校の旅行でなければ達成できない多くの効果があるからであって、われわれ現場では、社会活動や他の教育活動では補いきれない教育的価値の大であることを、実践を通して示すことが大切であると思います。

修学旅行こそは一、二年で行われた遠足、集団宿泊指導などの総仕上げとしての行事であります。それらの反省を通して発展的に指導し、事前事後の指導を併わせ、生徒の自発活動、企画立案による課題意識をもって積極的に参加することが望ましいことと思います。

それぞれの学校で日程、費用、教育効果を十分吟味し、創意、識見を生かした改善が行われてこそ子どもの心になお一層かけがえのない想い出を刻む最大の学校行事となることと確信いたします。

三地区修旅連絡協では昭和五十四年度から修学旅行研究校をお願いすることになり、栃木県二宮町立久下田中学校がして下さることになりました。同校の成果を大いに期待してやみません。なお各地区でも多くの学校が研究にあたられ、その実践を紹介して下さることを紙上をお借りしてお願いいたすしだいでございます。

（関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会長、近畿二府四県中学校修学旅行委員会委員長、大阪府河内長野市立東中学校長）

高めよう体験学習

早川　高徳

あけましておめでとうございます。

旧年中は修学旅行ひとつ取りあげてみましても、さまざまな問題をかかえながら無事完了いたしました。これも関係者の皆さまのご努力とご協力の賜であると深く敬意をささげるものであります。

中でも国鉄赤字解消策に伴う運賃の値上げ、修学旅行専用列車の縮少、合理化など利用者にとりまして最も痛いことであり、それと同じようにバス料金、宿泊費など諸費の値上げが伴ってまいりまして、どの子も同じように参加させたい義務教育のたて前から先生方もたいへんご苦労なさっていると思います。

また、修学旅行の在り方など、教育の中味や基本にかかわる研究も各地で行なわれていると聞いております。修学旅行は多額の費用を伴うもので、それに見合う効果が当然あるべきですし、集団行動による楽しい体験学習であり、列車やバスや宿舎を教室にして二十四時間教育が生涯の思い出と印象を積み重ねていくもので、これは修学旅行ならではとうてい到達し得られない実績であると信じます。観光中心の従来のパターンを脱してユニークなものに脱皮するためには旅行業者の協力を得て教育専門家が新しい発想に立って、教師指導による生徒のプランニングの重視、学習レディネス、行動のシステム化、学習整理と自己評価など研究する必要があると思います。

しかし一挙に何もかも改善することが不可能ならば学習テーマを明確にして、そこへ観察や理解を集中させていくやり方はいかがなものでしょうか。例えば「首都圏はどのように動いているか」「富士火山群を中心にした火山活動はどのようであるか」など学習の焦点化をしながらコースの選定、事前整備などによって興味を集中させ、活動している社会の実態の中で、または大自然の営みの中で積極的にじかに学習体験を積んでいくやり方なら容易にできることだと思います。

（関東・東海・近畿三地区中学校修学旅行連絡協議会副会長、東海三県中学校修学旅行委員会長、名古屋市立前津中学校長）

新しい転換求めて

浅香　久

八〇年の新春を迎え、謹しんで関係の皆様に心からお喜びを申し上げます。

八〇年代の出発に当たり、多くの人々がわが国の政治や経済、そして教育の新しい転換を期待しています。

学校教育では、先ず小学校がこの四月から新教育課程へ完全移行し、中学校・高校も続いて、ゆとりがあり、しかも充実した新しい教育の展開に迫られています。八〇年代の教育の転換は新教育課程を軸として展開されますが、新しい転換には新しい発想が必要であり、新しい展開には創意工夫が必要であります。その衝に当る私たちの一層の奮起が要請される年ということができます。

この時期に当って、修学旅行もまた初心に帰って見直されるべきでありましょう。

修学旅行の教育的意義は教育課程への位置づけ、具体的なねらいや目的地、方法論がもっと現場教師の間で論議され研究されなければならないと思っています。

校外学習としての修学旅行は、輸送と宿泊の両面から大きな制約を受けざるを得ないのが現実でありますし、中学校一年生が入学すると間もなく、二年後の輸送計画に乗らなければならないということも事実であり、これがまた、現場教師の自由な発想や論議研究の意欲を阻害していないとはいえません。慣行的行事に堕しつつある修学旅行に、自省の念を禁じ得ないのは私だけでありましょうか。

修学旅行をとりまく条件は厳しいものがありますが、八〇年代はまた、修学旅行の新しい転換を模索する時代ともいえましょう。

全国修学旅行研究協会が、多年にわたって私ともに賜わったご指導と、多面的に展開されてこられた運動の成果に、深く感謝申しあげるとともに、転換期に即応するご活動とご指導に大きな期待を寄せるものであります。

（関東・東海・近畿三地区中学校修学旅行連絡協議会副会長、関東地区中学校修学旅行委員会長、埼玉県浦和市立常盤中学校長）

教育の原点から

芥子芳雄

あけましておめでとうございます。

いよいよ厳しさが予想される八〇年代に突入いたしました。今こそ豊かな人間、新しい歴史を創造する人間への教育が行わなければなりません。今日の消費文明は機械化の中で、人間的な成長がゆがめられつつあるとき、何より人間的な触れ合いが大切です。あたたかい、なまの人間教師のはたらきかけが求められています。プロとしての教師の資質を高めるために極力ご協力の賜であると深く敬意をささげるものであります。

中でも国鉄赤字解消策に伴う運賃の値上げ、修学旅行専用列車の縮少、合理化など利用者にとりまして最も痛いことであり、それと同じようにバス料金、宿泊費など諸費の値上げが伴ってまいりまして、どの子も同じように参加させたい義務教育のたて前から先生方もたいへんご苦労なさっていると思います。

また、修学旅行の在り方など、教育の中味や基本にかかわる研究も各地で行なわれていると聞いております。修学旅行は多額の費用を伴うもので、それに見合う効果が当然あるべきですし、集団行動による楽しい体験学習であり、列車やバスや宿舎を教室にして二十四時間教育が生涯の思い出と印象を積み重ねていくもので、これは

も、自己に厳しく、日常的な教育活動を見直ししたいものです。

修学旅行も従来の路線上を歩むというのではなく、相当思いきった装いを持たしていいのではないかと思います。子どもに自主性や創造性をとく教師が、いつまでも慣習に流されていては困ります。修学旅行の印象は、長い人生のなかでも強烈です。よき印象を残すためにも、人間教育の立場から再検討すべきときです。

小学校では、今年四月から新教育課程が全面実施されます。とくに人間性、ゆとりなど教育の原点に立った質的な転換をめざすことになります。「学校教育がどのように変わるだろうか」と各方面から注目を浴びています。それも単なる注目でなくは冷厳な批判と強い期待が伴っているように思います。教育への愛と情熱をもやし、これを実践にうつすという姿勢が教師ひとりひとりになくては、どんな立派な教育計画も画餅に帰することは明らかです。

修学旅行も、その教育的意義や人間形成上からの教育的効果を、現代的な視点から再検討し、当運営協議会の使命を果したいものと考えています。学校側の要望、とりわけ子どもたちの願いをくみとり、より健全な運営をはかりたいものです。

八〇年代の年頭にあたり、修学旅行を教育の原点から再出発することを私たちの課題と考えています。（あおぞら号近畿地区運営協議会長、大阪市立集英小学校長）

謹賀新年

昭和五十五年元旦

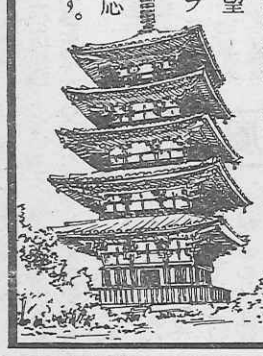
財団法人　全国修学旅行研究協会

理事長　山本種一
常務理事　永井熙
同　村山助雄
理事　青山良道
同　高田治郎
同　完戸一末
同　白滝紀郎
同　成瀬時治
同　魚谷幡太郎
監事　芦田重左衛門
同　田尻一

本部事務局
局長　前田寛
研究部長　小泉松
中央研修部次長　藤田勝次郎
経理部長　金谷ユキ子
広報部長　早川泰雄
中央研修部管理主事　竹内雅量
中央研修部参与　鈴木憲二
調査役　岩山春之助
同　森崎武夫
大阪事務局
調査役　小西惣二
所長　曽田震五郎
所員　貴志吉子
名古屋分室
分室長　鬼頭藤松

学ぶ、残す、自己を見い出す修学旅行にしたい。ツーリストがお世話します。

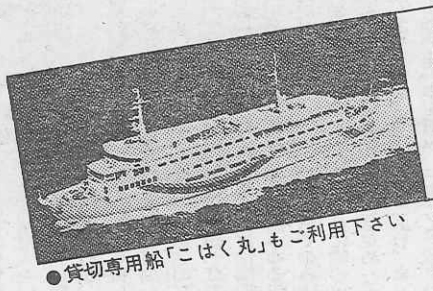
ツーリストは学校の主体性を尊重し、その特性に沿った個性ゆたかな旅づくりと積極的に取組んでいます。地元警察や病院などとの協力体制を密にし、万が一の事故にも万全の構え。また、事前指導用の修学旅行映画を制作し、指導の推進をバックアップ。多彩なご要望に綿密なプランで――すばやくお応えしています。



近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN

思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅



●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市北区梅田1-1 ☎06－344－7031
東京都中央区八重洲1-4-14 ☎03-274-4273
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

藝科

テラスを降りると、そこはもう湖

すぐ近くの赤沼平という湿原の一部を堰き止めて、女神湖と呼ばれる人造湖ができてから風景は一変した。

カラマツの林の中に沈められたこの湖は、蓼科山の北西の裾野に広がる広大な原生林の中の優しいアクセントとなった。

湖畔のカラマツの背丈はあまり高くないので、湖全体の感じは明るい。

湖水南面の牧場周辺の喧噪に比べて、湖は北岸に二、三のホテルがあるだけで、その名のとおり優雅な静けさをとどめている。

森村誠一「真昼の誘拐」光文社発行より。

女神湖の畔、山の湖のロマンをそのままに漂わせるようにたたずむ明るく清潔なホテル。

女神湖ホテル　〒384－23　長野県北佐久郡立科町芦田　電話　02675－5－6006
案内所　東京：千代田区内神田3－14－8ニシザワビル　電話　03－252－7033
大阪：北区小松原町2－4フコク生命　電話　06－312－8988

首都圏で唯一の本格サファリ。
動物とのふれあい。
フレッシュな体験。
ご要望により、獣医・飼育係による動物教室を開講いたします。
●大食堂800名収容・駐車場2,500台
●全周映画（ディズニーランドと当園にしかありません）
●大遊園地
●修学旅行料金・高校生¥1,000・中学生¥600・小学生¥500
◎野生の王国◎
群馬サファリ・ワールド
群馬県富岡市岡本1　☎02746(4)2111
東京営業所　☎　03（836）4588